

ウエディングプランにおける情報要求の具体化支援

上田 悠登

あるカップルが、挙式や披露宴を計画する場面において、様々な情報要求がある。一般に、そうした情報要求はウエディングプランナーとの質問を通して解消されていく。しかし、カップルが気づいていない情報要求も存在する。また、情報要求を解決するリソースとして、インターネットの質問サービスであるコミュニティ QA が存在する。本研究では、コミュニティ QA リソースにおけるウエディングプランに関する質問を分析し、様々な情報要求を可視化して提示することで、ウエディングプランについての情報要求に対する気づきを支援するための手法を提案する。

コミュニティ QA リソースには、多くの結婚式に関連する質問が存在する。しかし、その中には参列者側の質問なども入っており、そのような質問を分析してもカップルが求める情報要求を満たすことはできない。そこで、ウエディングプランに関する質問をカテゴリやキーワードによって抽出する手法を提案する。

提案手法では、ウエディングプランの情報要求に関するカテゴリやキーワードによって抽出した質問を、Doc2Vec を利用して文の分散表現に変換し、t-SNE により次元削減を行うことによって、情報要求の可視化を行った。

提案手法の有効性について検証するために、情報要求が可視化されているか確かめる評価実験を行った。質問を抽出する際に使用したリソースに依存しないよう、株式会社ウエディングパークが提供している結婚お悩み Q&A の質問から検索課題を設定し、提案手法で可視化された情報要求によって、検索課題を発見できるか確認した。検索課題は「結婚式 料理 ランク」、「ブライダルフェア 参加数」、「装飾 持ち込み」、「演出 余興」、「お色直し 振袖」の 5 件に設定した。実験データは、Yahoo!知恵袋データ第 3 版を利用し、「結婚式」をキーワードに含む 5,322 件の質問の中からウエディングプランに関する質問 309 件を抽出した。

結果としては 5 件の検索課題のうち、3 件を発見することができた。これにより、限定されたドメインにおける情報要求を具体化するにあたり、情報要求を可視化する手法が有効である可能性を示した。一方で、発見できなかった 2 件の検索課題については、可視化を行う前に、質問の分散表現を抽出する手法に改善の余地があることが明らかとなった。

今後の課題として、プランニングに関する質問をより精度が高くなるように抽出するため、ストップワードを新たに追加して関係のない質問を除外することを検討している。また、SCDV などの単語の分散表現を文単位で集約する手法を利用することで、質問から分散表現をより適切に抽出できるか検証を行う予定である。

(指導教員 関洋平)